

稚桜 (わかざくら)

～南中校長室より～

平成 29 年度 NO.1

平成 29 年 4 月 10 日



Be Proud Of Us

(自信と誇りのもてる学校)

ご進級 (入学) おめでとうございます

本日はお子様のご進級 (入学) おめでとうございます。保護者の皆様には、今後も生駒南中学校の教育活動の充実のためにご理解とご協力をお願いいたします。

本校では、「心豊かで将来にわたって生きる力を持ち、社会人として自立できる人間の育成」特に「知徳体」及び「人権尊重の精神」の育成を目指し、前年度の反省を生かしながら、「だれもが安心、安全な学校作り」に精進しております。「生駒南中学校グランドデザイン」をHPに掲載しております。

さて、学校では「いじめ」や「子どもの自殺」「体罰」など、社会では「子どもの誘拐・監禁、殺傷」、日々報じられる「虐待」等、「命の尊さ」を考えさせられる日々が続きます。

本校では「総合的な学習の時間」を「いのちの時間」と位置づけ、「子どもたちの心を耕す」教育活動の充実を図る中で、「子どもたちに人としての生き方」を重点的に指導していきたいと思っております。

また、本年度は「読書活動」推進に力を入れていきます。家庭でもご指導よろしく申し上げます。

私達教職員も子どもたちに一番身近な「大人」「人」として成長すべく努力をしておりますので、よろしくお願いいたします。

以下、平成 29 年度の出発にあたり以下の先生方の異動があったことを報告します。

異動	転出			転入		
教頭	丸井理恵	女	退職	教頭	男	辻本佳嗣(香芝東中学校)
国語	杉田幹子	女	退職	国語	男	三木俊之(大瀬中学校)
数学	藤田尚弘	男	退職	数学	男	市竹航大(新規採用)
社会	山村康秀	男	上中学校			
音楽	長本洋子	女	緑ヶ丘中学校	音楽	女	奥川 緑(緑ヶ丘中学校)
保健体育	小川千里	女	大瀬中学校	保健体育	女	北村有希(緑ヶ丘中学校)
美術	笹尾 愛	女	退職	美術	女	梶尾優子
図書館司書	小田原佳奈美	女	退職	図書館司書	女	川口光枝

あいさつ革命スクール 南中

—世界—あいさつが飛び交う学校—

本校の生徒は「あいさつをよくする」ということでいろんな方々からお褒めの言葉をいただいています。昨年度の開校 70 年を機に、一層「あいさつ運動」に取り組んでいきます。

明るくはっきりと！ 元気よく大きな声で！ 笑顔で視線を合わせて！

教師心得 12カ条

以下、いつも心にして教育活動に精進していきます。

- 1 教師の一言 天使の声・悪魔の声
言葉は恐ろしいものです。一言が、子どもたちの人生を善くも悪くも変えてしまうことがあります。言葉遣いについては細心の注意を払います。
- 2 背中で教育 率先垂範 時間厳守 挨拶 身の回りの環境美化。
子どもたちは教師の言動をよく見えています。社会力の基本である 3 つのことは教師から見本を見せたいと思います。
- 3 これでいいのか 自問自答 プラスアルファの実践を。
例年通りの提案には進歩、発展がありません。行事等がマンネリ化しないように、「ひと工夫」を心がけます。
- 4 子どもの変化を見逃すな 25本のアンテナ張り巡らし。
子どもの変化を見逃さないよう、全職員で子どもたちを見守ります。
- 5 ホウ・レン・ソウ みんなで情報共有を。
「報告」「連絡」「相談」教職員みんなで常に情報交換しあい、日々の指導に生かします。
- 6 5分前行動 教師も生徒も心地よいスタート。
時間が来たら一齐に挨拶して、授業や活動に入り、「時間」の有効活用を心がけます。
- 7 鏡の前、笑顔を作って さあ がんばろう。
子ども達の前に出る時には、笑顔を作って、元気一杯。
- 8 教える教育 共に育つ 共育 心に響く響育を。
教えることは基本ですが、共に育とうという気持ち、互いに心を響かせることのできる響育を目指します。
- 9 だめは駄目 子どもも待っている 毅然とした指導。
子どもたちは教師の指導に反抗します。しかし、心の中では「この先生は自分のために」は感じていると思います。しかる時は真剣に叱ります。
- 10 ルート違えども めざす頂上 子どもの幸せ。
方法はいろいろあっても、いつも「子どもの幸せ」を目標に、論議し、行動していきます。
- 11 できない理由探しより できる方法 知恵出し合い。
「できない」は簡単です。子どもの幸せのために「できる方法」を追求して知恵を出し合います。
- 12 電話より 足でかせぐ 心の連携。
電話やメール。生活は便利になった今、顔を合わせて話をする事の大切さを再認識したいと思います。

校長通信「稚桜（わかざくら）」はHPにも掲載しています。

発刊予定日 4月10日、5月1日、6月1日、7月3日、7月20日、9月1日、10月2日、11月1日、12月1日、12月22日、1月9日、2月1日、3月1日、3月23日

準備が整い次第、毎週金曜日に学校よりのメール配信をしていきますので、ご登録（再登録）してください

学校カウンセラーの予定(詳細については後日連絡します。)

岸田カウンセラー 7日(金) 15日(金)

部活動の現状について

部活動の選択にあたって、以下の現状を参考にしてください。

- 野球とソフトは単独でチームが成立していない。
- 部員の数にアンバランスがある。
- 茶道部は道具等の関係で、十分な活動ができない。

	2年	3年	合計
バスケット(男)	5	9	14
テニス(男)	10	6	16
バレー(女)	10	13	23
ソフト(女)	0	6	6
野球(男・女)	1(1・0)	4(4・0)	5(5・0)
吹奏楽(男・女)	12(3・9)	13(2・11)	25(5・20)
茶道(男・女)	10(4・6)	15(7・8)	25(11・14)

入学式式辞

春爛漫の今日の佳き日、多数のご来賓、並びに保護者の方々のご臨席を賜り、ここに、平成二十九年度、第七十一回、入学式を挙行できますことは、この上もない慶びであります。

ご来賓の皆様には、公私とも大変お忙しい中、新入生のためにご臨席賜り、誠にありがとうございます。高段からではございますが、厚く御礼申し上げます

七十二名の新入生のみなさん、入学おめでとうでございます。心からお喜び申し上げます。

皆さんは、今日から七十一年のすばらしい歴史と伝統をもつ生駒南中学校の生徒です。

皆さんが、これから経験する中学時代は、長い人生の中で、最も伸び盛りの大切な時期です。この3年間をいかに過ごすかが、これからの人生にも大きく影響を及ぼすと言っても過言ではありません。

今までの殻にとらわれず、新しい自分を見つけ、また、友達のすばらしいところに学び、自分を鍛え、互いに切磋琢磨し、成長をしてください。

みなさんの生駒南中学校入学にあたり、しっかりと身につけてもらいたいことを三つお話ししたいと思います。

まず、はじめに、今日から、将来、社会に出たときのことを考え、自分に「社会性」という、幸せな人生を送るための基盤となる力を身につけてほしいと思います。

ある調査によりますと企業が求める「新入社員に必要な能力」として10年以上もトップにあるのが「コミュニケーション能力」です。

「相手の話をしっかりと聴き理解する」「いろんな人の意見や考えを合わせて円滑に物事を進める」「自分の考えや思いをまとめ相手がわかるように伝える」

すなわち、「人と会話のキャッチボールが違和感なくできる力」が「コミュニケーション能力」です。

そしてそのファーストステップは「だれとでもきちんとあいさつをする」ということです。

あいさつを交わすことは、互いの安心感と信頼感、心地よさをつながり、人間関係の潤滑油になります。

本校では、創立70年を機に、「あいさつ革命スクール南中、世界一挨拶が飛び交う学校」を合言葉に今まで以上に積極的「あいさつ運動」に取り組んでいます。

「大きな声で」「笑顔で」「相手と視線を合わせて」あいさつをしていきましょう。

決して、むずかしいことではありません。

まずは「挨拶することが当たり前」と「意識する」「意識」は「行動」に変わり「行動」は「習慣」となり、「習慣」となれば、それは、当り前のことになります

次に、一期一会の奇跡の出会いに感謝し、心から「みんな、なかまたち」と言える友達を、そ

してそんな友達関係をつくってほしいということです。

「人は出逢って、知人となり、語り合って、友となり、活動しながら、なかまとなる。」

知人となり、友となり、なかまとなっていくために、最も大切なことは、語り合ったり、ともに活動してお互いにもっている「良さ」「輝き」を認めあい、「相手の立場や気持ちになって考え、行動できる」ことが重要です。

想いや考え方や感じ方、物の見方はひとそれぞれ違いがあります。時には衝突や反発もあろうかと思えます。しかし「我以外みな教師」。だれからも学ぶ謙虚さを忘れず、お互いに「なかま」として、個性を尊重しあい、相手の気持ちを第一に思い、乗り越えていける関係をつくってほしいと思えます。

最後に、中学時代は、知識や技能を最も吸収できる時期です。当然、三年後は、自分の進路を決めなければなりません。

将来の自分を想像し、目標をもって、毎日の授業を集中して受け、学習したことの定着を図るため、家庭学習の習慣をつけてください。

また、提出物は忘れず、分からないことは、そのままにせず、進んで調べたり、先生に聞くなど、積極的な学習に努めてください。

自ら進んで学んだことは、決して忘れることがありません。必ず自分の力になります。

人の能力は、無限です。みなさんの能力も無限です。「あせらず」「あわてず」「あきらめず」一歩、一歩、自分のペースで着実に前へ進んでいってください。

部活動を希望している人も多いと思いますが、これも同じです。部活動の種類は限定されていますが、自分が興味を持つようなことに積極的にチャレンジして下さい。「上手になれる」「自分はやればできる」「絶対に伸びる」と意欲や自信をもって取り組んでください。

苦しさを楽しさに変え、くじけず頑張ってください。最初はうまくいかなかったり、失敗したり、へたくそだったりすることはありますが、我慢して我慢して続けていれば、必ず、それは人生の財産、宝になります。

また、本校では「読書活動推進」の取り組みを進めています。読書は、知識量を増やし、心を耕し成長の大きな糧になります。朝の読書活動はもちろんのこと、毎日、放課後、図書室を開放していますので、読書に勤んでください。部活動との兼ね合いがありますが、続けることで、部活動と同じくらいの価値があります。

「継続は力なり」です。ぜひとも実践してください。

悩みをかかえたりすることもありますが、多くの先生や先輩がいます。スクールカウンセラーの先生もおられます。安心して相談してください。

そして、勉強に、部活動に、学校行事に打ち込んでください。今日から、なかまとともに、成長していくみなさんの姿を楽しみにしています。

保護者の皆様に、一言、お祝いの言葉と、お願いを申し上げます。

本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

子どもたちは、今、思春期を迎え、自我に目ざめていく、むずかしい時期にあります。

私たち教職員は、「一人ひとりの個性を大切にし、その持てる能力を最大限に生かす」ということを教育姿勢として、努力致す所存です。

批判や非難からは何も生まれません。「子どもの幸せを頂点に」是非、教職員に信頼をお寄せいただき、「ともに育てていく」という協同作業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、新入生のみなさんと共に、在校生、教職員一丸となって、Be Proud Of Us

「だれもが自信と誇りを持つことができる生駒南中学校」を創っていくことを約束し、式辞とします。

平成二十九年四月十日 生駒市立生駒南中学校長 相木正則